

1) システムの名称

新版 e-カルテ (シンパンイーカルテ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内の位置付け

1. 電子カルテ・所見記述系、12. 診療録など管理系

3) 特色

◆診療記録の3原則に対応

(真正性) 情報の追加・修正・削除の全ての履歴を管理／データの半永久保存

(見読性) 各種情報を即時に、かつ複数ユーザが画面に表示が可能／XML (HL7) 出力に対応

(保存性) サーバの完全二重化、リアルタイムデータレプリケーションによる高速バックアップ、無期保管に対応

◆総合診療録

医師診察診療録のみでなく、看護記録、リハビリ、栄養指導など病院総合カルテによる、院内情報の共有化

(共通インターフェイスによる入力/参照) を実現します。

◆入力サポート

医療用漢字辞書と標準連携しています。さまざまな入力サポート機能を搭載しています。

◆情報の2次利用

各種サマリ、院内・院外文書へのデータの利用(引用)が可能です。

情報ソースの公開(守秘契約必要)により、病院様による独自の情報収集・情報利用が可能です。(EUCの実現)

◆画像情報との連携

PACS等画像システムからの各種画像データを、Webブラウザを利用して連携致します。(Webサーバ必要)

診療録を記載しながら参照画像データの表示やインフォームドコンセントへの活用を実現します。

◆オーダエントリシステムとの連携・機能アップ

当社オーダエントリシステム(NEWTONS2)より、容易に電子カルテ機能をアドオンすることができます。オーダエント

リーシステムのインターフェイスにそのままに、診療録機能を追加し、オーダとのシームレスな連携を実現しています。

4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明

電子カルテ入力画面

入力補助機能

- ・シェーマ図取り込み
- ・テンプレート入力
- ・ワードパレット入力
- ・各種データを引用記載
- ・ペンタブレット対応可能
- ・画像貼り付け
- ・医療辞書標準提案



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無

(1) マスター/コード体系 :

・MEDIS-DC 標準病名マスター(ICD10), MEDIS-DC 標準手術・処置マスター(ICD9CM), MEDIS-DC 看護実践用語標準マスター(看護行為編、看護観察編), レセプト電算コード(以上、標準で提供)

・MEDIS-DC 標準医薬品マスター(HOT番号), 医薬品業者社内医薬品マスター, 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード(JLAC10), JJ1017 画像検査コード Ver3(以上、コードに対応)

・服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスター(1回量処方運用時に標準提供)

(2) データ交換規約 :

・JAHIS データ交換規約(共通編) Ver1.0, JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver2.1, JAHIS 病名データ交換規約 Ver.3.0C, JAHIS 処方データ交換規約 Ver.2.1, JAHIS 注射データ交換規約 Ver2.0C, JAHIS 放射線データ交換規約 Ver3.0C, JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver3.1(以上、データ交換規約に準拠したHL7 Ver2.5形式でのデータ出力に対応)

・HL7J-CDA 電子紹介状及び患者診療情報提供書、規格 Ver 1.00 に対応

(3) データ交換手法

TCP/IP ソケット、SOAP、XML ファイル

(4) IHE-J コネクタソン

- ・Radiology(放射線) SWF.b : Order Placer(OP)
- ・Laboratory(臨床検査) LBL : Label Information Provider(LIP)
LTW : Order Placer(OP), Order Result Tracker(ORT)
- ・Laboratory-MB(細菌検査) LTW-MB : Order Placer(OP)
Order Result Tracker(ORT)

- ・ IT Infrastructure (IT インフラ)
 - CT : Time Client (TC), Time Server (TS)
 - PAM : Patient Demographics Supplier (PDS), Patient Demographic Consumer (PDC)
 - Patient Encounter Supplier (PES), Patient Encounter Consumer (PEC)
 - PDQ : Patient Demographics Supplier (PDS), Patient Demographic Consumer (PDC)
 - PIXV3 : Patient Identity Source (PIS), Patient Identity Consumer (PIC)
 - PIX Manager (PM), PDQV3 : Patient Demographics Supplier (PDS)
 - Patient Demographics Consumer (PDC)

※標準化への取り組みならび IHE 統合宣言書については、下記サイトをご参照ください。

<http://www.softs.co.jp/business/standard.html>

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無記載

追加対応：可、追加費用：有

(6) 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例

「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例 あり」

- ・ HS001 医薬品 HOT コードマスタ
- ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスタ
- ・ HS008 診療情報提供書（電子紹介状）
- ・ HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
- ・ HS013 標準歯科病名マスタ
- ・ HS014 臨床検査マスタ
- ・ HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
- ・ HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針 (JJ1017 指針)
- ・ HS024 看護実践用語標準マスタ（一部対応）
- ・ HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン

(9) SS-MIX ストレージ利用範囲 ストレージ作成、データ連携（参照含む）

標準化ストレージ、拡張ストレージ（退院サマリ、診療情報提供書、医師カルテ、看護カルテなど）

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）

● サーバ (OS、DB) :

- ・ OS: Windows Server 2012 R2, 2016
- ・ DB: SQL Server 2012 Enterprise Edition
SQL Server 2016 Enterprise Edition

サーバ（ハード）：メーカ指定特になし（HP、日立、DELL、IBM、など実績多数）

● クライアント (OS) :

- ・ Windows7 (32Bit、64Bit)、Windows8 (32Bit、64Bit)、Windows8.1 (32Bit、64Bit)、Windows10

クライアント（ハード）：メーカ指定特になし（推奨スペック指定はあり）

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

病院内システム委員会様及びシステム担当者様との打合せ、弊社システムの検証、運用の決定、操作練習、マスタ設定等・本稼動前 5 か月～6 か月（オーダリング導入期間も含む）、本稼動後 2 ヶ月～3 ヶ月は SE 常駐体制を継続

8) 価格

システム規模により異なるため、要お問合わせ。

（参考例：200 床規模：2,000 万円～（電子カルテパッケージ費用 ※ハードウェア、部門システム、ネットワーク等の費用は含まず））

9) 保守の内容と費用

リモートメンテナス保守（24 時間サーバ監視含む）

＜保守内容＞

- ① 提供済みプログラムの不具合対処
- ② 提供済みプログラムの機能アップ（バージョンアップ）
- ③ 法改訂に伴うプログラム変更作業及び薬価・行為マスタの提供
- ④ 誤操作、HW 故障時の回復指示及び作業支援
- ⑤ 業務変更・拡張に伴う、SW 面・HW 面でのコンサルティング
- ⑥ その他

＜月額保守費用＞

システム規模により異なるため、要お問合わせ。

（参考例：200 床規模：60 万円～ ※オーダリングシステム、医事システム）

10) 問い合わせ先

開発・販売会社：(株)ソフトウェア・サービス

問い合わせ先：(株)ソフトウェア・サービス <http://www.softs.co.jp>

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-1 TEL : 06-6350-7222 ; FAX : 06-6350-7227

技術営業部 新規営業グループ

info@softs.co.jp